

“人むすびの場”をともに創りませんか？

- ★「むすび（産霊）」とは、ものを生み出す力のことを表す古語です。
- ★「人むすびの場」は、ご参加の皆さん全員が「場づくり人」として、思いと知恵を分かちあい、未来に向かう「対話と創発の場」です。2008年から毎月開催しています。
- ★私たち一人ひとりが一枚の布を織りあげるように、どこを織っているかは後でのお楽しみで、世の中と関わることで、未来社会を明るいものにできるよう希（ねが）います。
- ★2018年も心ある取組みの“今”をお伝えし、対話を通じて前進しましょう。
皆さまのご参加を心からお待ちしています。

1. 第123回テーマ:「災害関連死ゼロの社会をつくる～取り組むべきは日頃からの連携」

2. 日程 : 平成30年10月19日(金) 午後7時～9時

3. 内容 : ☆ゲストスピーチ 三平 洵 (みひら・じゅん) さん

＜一般社団法人地域防災支援協会 代表理事＞

フェイスブック <https://www.facebook.com/boushikyoo/>

西日本豪雨の直後に北海道で大地震が起きるなど、自然災害が相次ぐ中で、被災した人たちが避難生活期以降に亡くなる「災害関連死」を防ぐことが大きな課題となっています。災害関連死への対策として「防災衛生」の視点や活動が注目され、今年10月15日に「災害関連死ゼロフォーラム・第1回全国大会シンポジウム」が開かれるなど、災害関連死ゼロの社会づくりの取り組みが広がっています。

震災による精神的ショックと過酷な避難生活を乗り切ること、普段の生活に必要な食物アレルギーや介護の必要な高齢者や障害者への配慮など、平時の日常生活に必要なことは避難生活でも変わるものではありません。避難生活の備えを考えれば考えるほど、分野を超えて協力し組織の縦割りを改善する「日頃からの連携」の必要性に気付かされます。

関連死ゼロフォーラムの旗振り役でもある三平洵さんと一緒に、被災後の生活に着目した防災について考えましょう。

☆人むすびカフェ ファシリテーター: 角田 知行さん

ワールド・カフェの手法を用いて、ゲストのお話から連想されるアイデアやお互いの想いを対話します。

4. 会場 : EIJI PRESS Lab (渋谷区恵比寿南1-9-12 ピトレスビル5F)

5. 参加費 : 1000円 ※終了後、軽く交流会を開催します。(実費2,000円) お申し込みは18日(木)まで。

お申込はHPまたはメールからどうぞ！

お名前、所属、電話、mailアドレス、懇親会参加をご明記ください。<http://www.terrestrial.co.jp/musubi/>

※記録写真の撮影とその活用をご了承ください。

株式会社テラ・コーポレーション内

“人むすびの場”づくり企画運営チーム: 高重

東京都文京区白山1丁目20番4号

ハウス白山ビル4階(〒113-0001)

TEL: 03(3815)1981

Email: info@terrestrial.co.jp

※お預かりした個人情報は本ご案内の他に利用しません

